

地域の農を支える生産者

能勢町地黄地域

株式会社のせフレッシュファーム

まえだ むねよし

前田宗良さん

(65歳)

主な栽培品目

フリルレタス
栗
小松菜
ホウレンソウ
トマトの苗



親と子 二人三脚で営む
長男の宗一郎さん(左)と宗良さん(右)

「恩返しでなく
「恩送り」。
伝えていくことが
自分の仕事です。」

趣味という世界でもないの、ある程度維持しようと思うとそれなりにコストが掛かります。そのコストを吸収するくらいの分は収益としてあげないと続けていけないので、維持することがいかに大変かということですね。

○ 大変だったこと・嬉しかったことはありますか。

○ 趣味という世界でもないの、ある程度維持しようと思うとそれなりにコストが掛かります。そのコストを吸収するくらいの分は収益としてあげないと続けていけないので、維持することがいかに大変かということですね。

○ 素人でも出来、新規就農の人達が長続きする農業のスタイルを作りたいです。そして若い人たちが農業を始めようかなと思った時に色んな選択肢があつて、そんな中で水耕栽培をやってみたいなという人がいれば、自分たちが失敗したことは皆に教えてあげることが出来るので、そういうことを伝授できるようにしたいなと思っています。

○ これからの目標や夢をお聞かせください。

○ 素人でも出来、新規就農の人達が長続きする農業のスタイルを作りたいです。そして若い人たちが農業を始めようかなと思った時に色んな選択肢があつて、そんな中で水耕栽培をやってみたいなという人がいれば、自分たちが失敗したことは皆に教えてあげることが出来るので、そういうことを伝授できるようにしたいなと思っています。



水耕栽培で育った綺麗なフリルレタス



種をスポンジに入れて発芽を待つ

○ 始めたきっかけについてお聞かせください。
A 10年前の55歳になった時に定年退職をし、ちょうどその時に子供も学校を卒業し、就職を控えていた時でした。定年退職をして、何をしようかなと思っていた時、昔からある農地を維持出来たらという想いがありました。しかしながら、畑作を行うノウハウも教わってこず、自分自身がそうだったように、子どもどこかで勤め、退職してからの農業はとてもじゃないけど難しいなと思ったので、何かいい方法がないものかと子供にも相談しました。

○ 生産のこだわりについて
A 水耕栽培に必要な不可欠な水ですが、地下42メートルの井戸を掘り、井戸水で栽培しています。6本掘って最後に出てきた井戸でした。水道水は淀川の水なので、調整されて